

森委員からのご意見

● 課題 1 & 2

- 防災気象情報のターゲットが住民と意思決定者とで明確になったと思います。
- 住民に対して「警戒レベル相当情報」は理解できるワードでしょうか？
- 「警戒」「レベル」「相当」はどのような意味で用いられているのでしょうか？
- 「警戒」は字面からだとあらかじめ注意し用心することで、避難とはつながらないのではないのでしょうか？
- 「相当」は警戒レベルに対しての相当だと思いますが、住民にはわかりにくいと思います。
- 議論が進む前に、防災気象情報と警戒レベル相当情報（例：高潮A情報）の関係を今一度クリアーにしてはと思います。例えば、「避難のための防災気象情報」といった分かりやすい名称をつけてはどうでしょうか。

● 課題 3 & 4

- 避難行動に十分に資するために、「警戒レベル相当情報」の構成を適正化には、避難可能性からバックキャストするという方法もあると思います。

例) 水平・鉛直避難の限界、洪水時の避難可能水深（大人XXcm）等

委員会での議論の一部になれば幸いです。